

教えて石平さん。日本はもうすでに中国にのっとられているって
本当ですか？ (SB新書)



《雇用、水、土地、海、教育、政治……》

ぼ一つとしていると、**全部**
中国人に持っていかれますよ。

発売日: 2017年8月4日

出版: SBクリエイティブ

著者: 石平

ページ: 159

危ない！ 気づいていますか？
土地、水、雇用、教育……
そのすべてが中国人にのっとられている。

いま、日本には、政令指定都市（50万人）の人口の1.4倍にあたる70万人の中国人が入り込んでいます。

日本に20しかない政令指定都市に居住する日本人の人口を上まわる数の中国人が、日本に入ってきているというわけだ。

彼らは日本の土地や水のみならず、雇用や教育、そのすべてを牛耳ろうとすべての分野に進出している。

われわれ日本人はこの現実はどう向き合い、中国人と今後、どう対抗していけばいいのか。この問題を、中国を捨て日本に帰化した元中国人、石平が語る。

目次

- 第1章 日本人が知らないところで加速する中国の日本侵略
 - (1) 日本の雇用、教育、マスコミ……、すべてが中国人にのっとられる！
 - (2) 日本の土地を狙う中国
 - (3) 日本の政治ものっとられる!?
- 第2章 中国はなぜ日本を目指すのか？
 - (1) かつての栄光を取り戻したい中国
 - (2) 日本人には理解できない恨みとは？
 - (3) 中国人が侵略してでも解決したい差し迫った中国の大問題
 - (4) 中国にある「流動人口」問題とは？
 - (5) 中国が日本からノドから手が出るほど欲しいもの1 「金」
 - (6) 中国が日本からノドから手が出るほど欲しいもの2 「技術力」
- 第3章 じわり外から囲い込んでくる中国
 - (1) 中国はなぜ海に進出するのか？
 - (2) 中国はアメリカを日本から追い出したいと思っている
 - (3) 金でアジアからアメリカを追い出そうとする中国
 - (4) 中国に囲まれたときアメリカは日本を守るか？
 - (5) 中国はどのようにして海から日本を侵略するのか
 - (6) 最大の敵アメリカを取り込もうとする中国
 - (7) アジアを支配する「一帯一路」計画とは？
 - (8) 「力」が唯一の世界正義である中国
- 第4章 日本は中国とどうつき合うべきか
 - (1) 中国は「近くて遠い存在」にする
 - (2) 日本が中国にのっとられたらどうなるか？
 - (3) アメリカ・中国の現状から出方を考える
 - (4) 中国は戦いの準備を進めている
 - (5) 「日本に手を出すと大やけどを負う」と思わせる

